

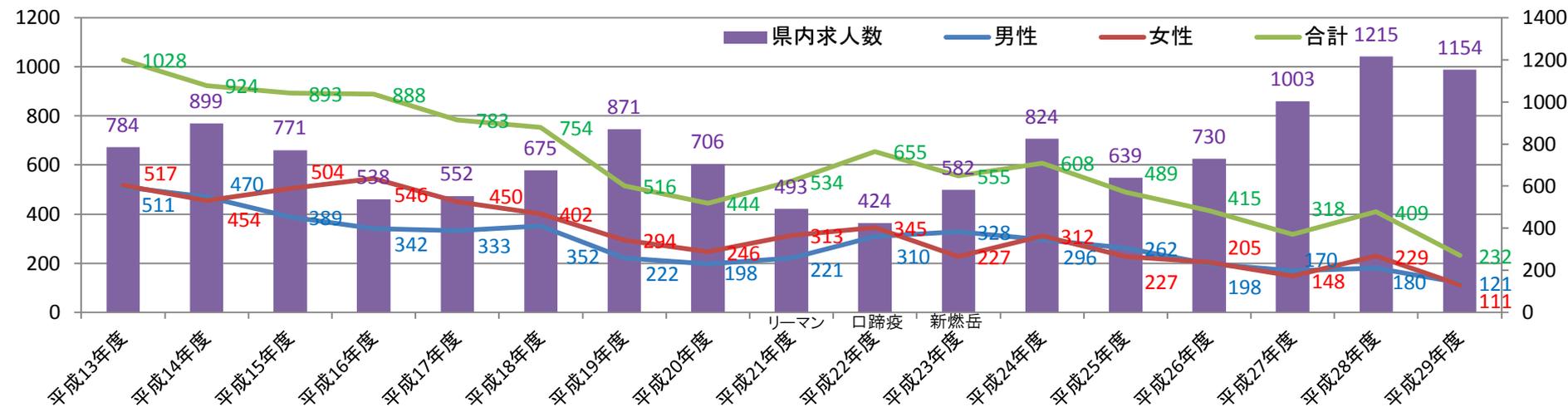
宮崎労働局の取組

- ◆ 「さあ、みやざきで働こう！」 キーワード③ 「つなぐ・つながる」
- ◆ 「夢 実現」 STOP早期離職！
| 就職活動準備段階 (2) 働く環境やルールについて学ぶ機会の提供

宮崎県における大学等就職面接会資料 (要約版)

 厚生労働省 宮崎労働局
職業安定部職業安定課雇用企画係

- 平成13年度より実施され、平成29年度まで17回開催している。参加学生数の動向で見ると、13年度の参加学生数1,028人がもっとも多く、平成29年度の参加学生数232人を比較すると、77.4%の減少となっている。
- 宮崎局の求人数については、これまで平成21年リーマンショック、平成22年口蹄疫、平成23年新燃岳噴火と厳しい状況化の時もあったが、近年においては「売り手市場」ということもあり、平成29年度は1154人と高い推移となっている。しかし、学生来場者数については過去最低の232人であった。



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加企業数	99	97	96	79	90	97	118	96	82	81	98	110	115	129	151	167	133
参加学生数	1,028	924	893	888	783	754	516	444	534	655	555	608	489	415	318	409	232
うち既卒者	118	73	82	56	43	30	32	21	38	43	49	61	61	40	52	38	39
就職者数	259	291	318	306	268	103	68	46	74	76	57	21	64	53	44	65	-
大学(院)	232	272	231	259	222	77	44	29	59	52	42	19	43	33	38 (6)	42 (2)	-
短大	18	7	22	18	26	15	13	14	9	10	5	0	5	9	0	7	-
専修・高専	7	12	65	29	19	11	11	3	5	9	7	2	13	8	4	10	-
既卒者	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5	3	0	3	3	2	6	-

※就職者数については、10月1日以内定開始時期に合わせて、参加企業へ確認している(概ね面接会日～6か月以内)

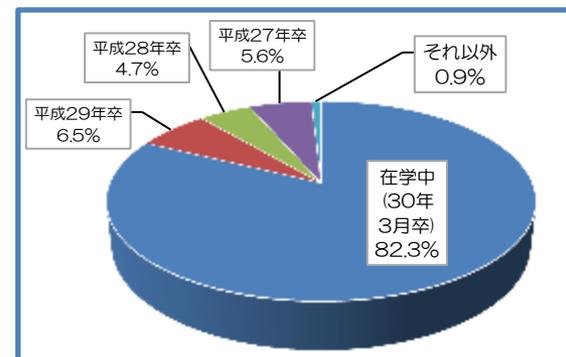
参加者概要

- 平成29年6月16日(金)、宮崎市内にあるシーガイアコンベンションセンターにて新規大卒者等及び県内企業との出会いの場として開催。
- 参加企業133社、参加者は232名であった。
- 参加者について前年度と比較すると、県内在住者の新卒者が53.4%の減少、全体で43.3%の減少。
- 参加者減少の要因としては、6月1日からの選考活動解禁後の開催であったが、すでに内々定を受けている学生が多く見受けられ、すでに就活が終わっている学生が多くなることや反対に就活のスタートが遅れている学生が多いのではと推測される。
- 県外からの参加者については前々年度より減少している。要因としては、お盆等の帰省時に合わせて開催していないため学生が少なかったものと考えられる。

参加学生等の県内外別・学歴状況

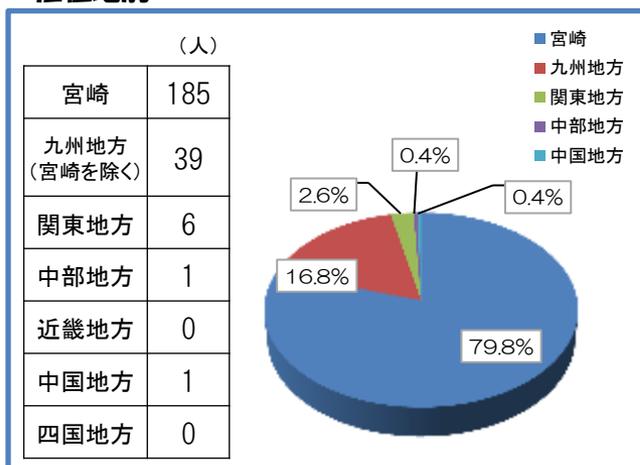
卒業年度	県内在住者				県外在住者				合計	備考
	新卒者	既卒者	他	計	新卒者	既卒者	他	計		
H27年度 (H27.8.13)	188	29	—	217	76	25	-	101	318	就活4ヶ月後ろ倒し (8月1日)
H28年度 (H28.6.3)	311	37	9	357	49	1	2	52	409	就活2ヶ月前倒し (6月1日)
H29年度 (H29.6.16)	145	38	2	185	46	1	0	47	232	大きな変更無し (6月1日)

<平成29年度参加者学生等の卒業年度内訳>

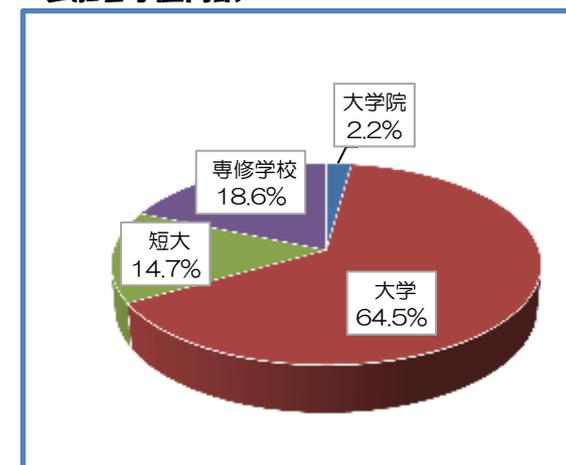


学歴	平成30年度卒業予定者	卒業後概ね3年以内	総計	全体に占める学歴別割合
大学院	4	1	5	2.2%
大学	119	29	148	64.6%
短大	30	4	34	14.8%
専修・専門学校	38	4	42	18.4%
高専	0	0	0	0.0%
能開校	0	0	0	0.0%
合計	191	38	229*	100%

<居住地別>



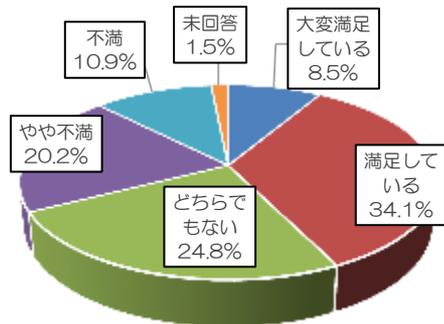
<参加者学歴内訳>



※上記以外3名(既卒3年以上、区分・学校名記載無し)を含み、参加者232名。

企業アンケート：133社が回答

1. 今回の就職フェアについて満足されましたか？

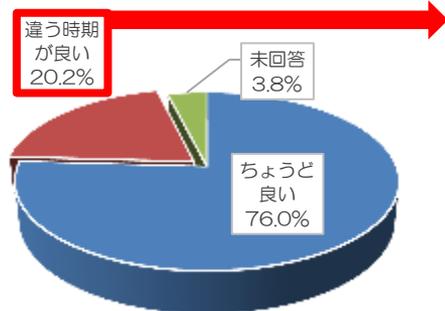


●「どちらでもない」以上と答えた企業は、全体の**67.4%**を占める。

【やや不満、不満と回答した主な理由】

- ・来場者が少なかった
- ・動きも少ない
- ・学生の理系学生らしき方が少なかった
- ・福祉関係の学生の参加が少なかった
- ・小会場であり人の流れがなかった
- ・業種によって差が出る、ブースと業種毎等工夫が欲しい

2. 開催時期はいかがでしたか？



◆違う時期がよい

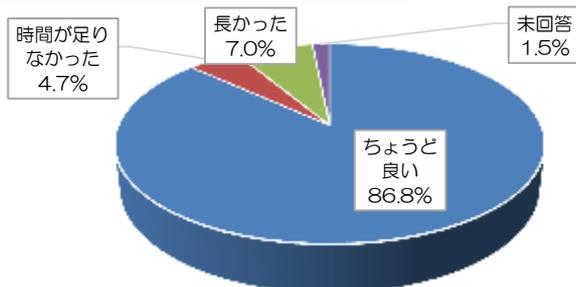
20.2%(26社)内訳

② 違う時期の理由	企業数	割合
もう少し早い時期が良い	13	50.1%
既に内定者がいる為早い時期がよい	6	23.1%
春休み期間	2	7.7%
6/1より採用開始しているため	1	3.8%
宮崎は出足が悪い気がする	1	3.8%
未回答	3	11.5%

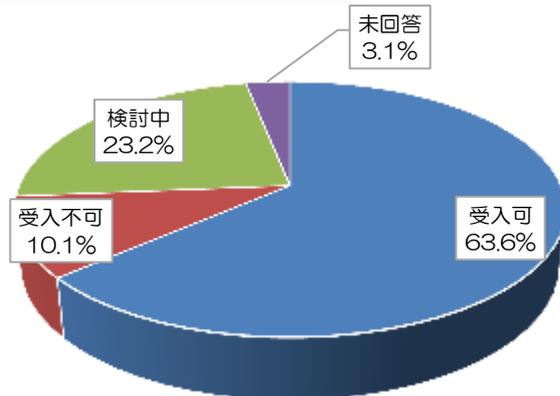
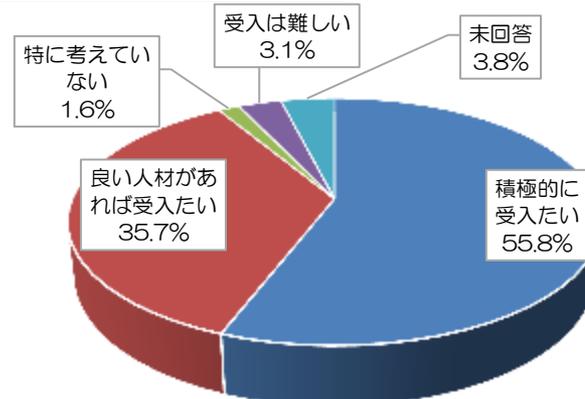
面接者数上位10社（産業別分析）

産業分類	面接者数	若者応援宣言企業	くるみん	きらら
学術研究・専門・技術サービス業	34			
金融業、保険業	26			
宿泊業、飲食サービス業	23	○		
製造業	19			
学術研究・専門・技術サービス業	19	○		
卸売業・小売業	18	○		○
運輸業・郵便業	16	○	○	○
情報通信業	15	○		
サービス業	14			
情報通信業	13	○		
建設業	13	○		○
金融業、保険業	13			○

3. 面接時間は13時～16時(今回より30分短縮)でしたが、いかがでしたか？



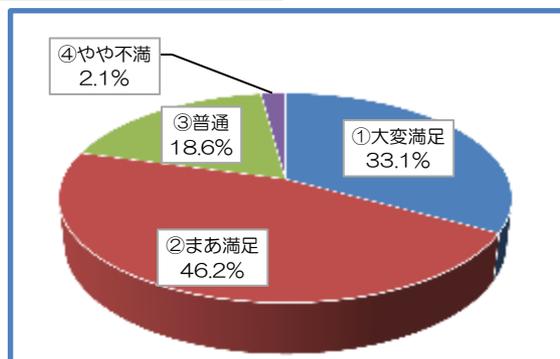
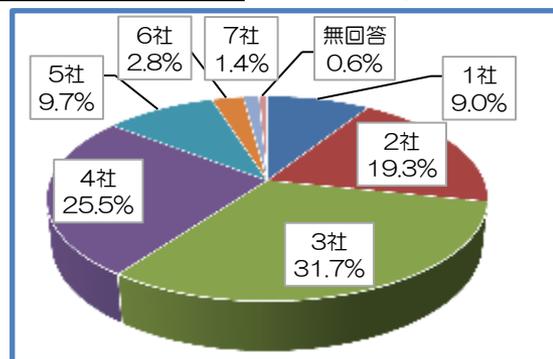
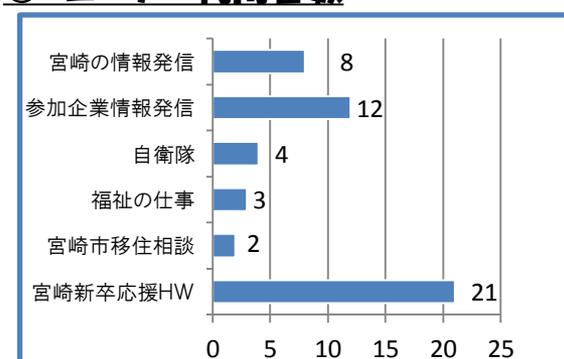
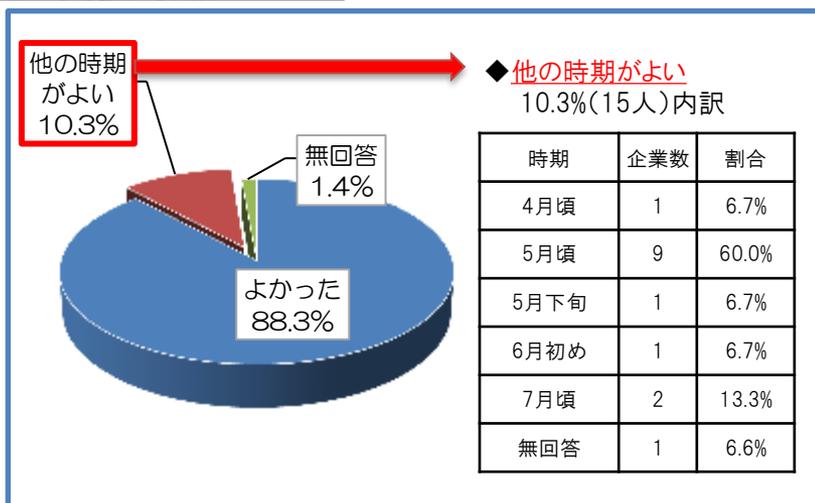
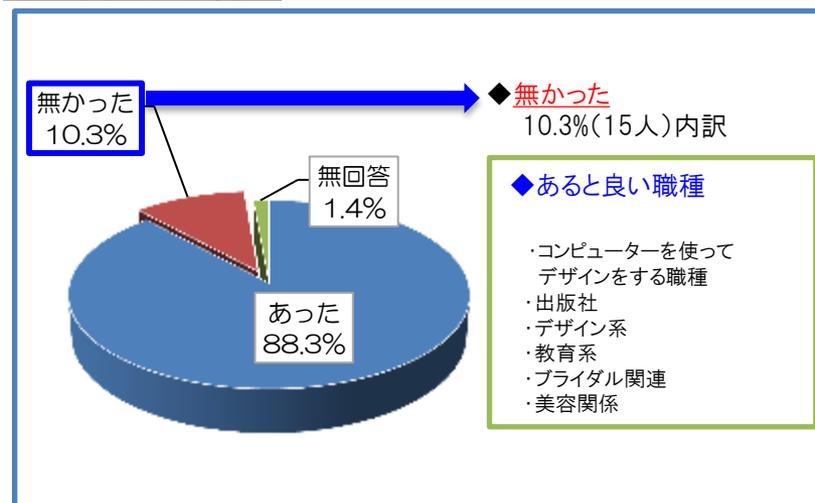
企業アンケート：133社が回答)

4. インターンシップの受け入れについて、
どのようにお考えですか？5. U・I・Jターン希望者の受け入れについて、
どのようにお考えですか？6. 学生や求職者に自社に関心をもってもらう、又は人材確保のために採用活動や求人等で工夫してきたこと、
あるいは今後工夫したいと考えていることがありましたら、ご記入願います。

- ・ 自社用求人パンフレット作成
- ・ 自社で作っているデザインの冊子を作りどんなものを作っているのか興味を持ってもらいやすくした。
- ・ 就活者向け会社案内を簡易ではありますが作成しました。
- ・ 学校訪問を定期的に行っている。
- ・ 職場見学会を各大学、高校へPRしている。
- ・ 認定制度には積極的に応募しています。
- ・ ICTの活用や介護ロボットやリフトを導入し介護負担の軽減を図っております。
- ・ ホームページ、SNS、就職サイト等の活用
- ・ 人事担当者だけでなく現場で勤務するスタッフを同席させ、職場イメージの湧きやすい説明をする。
- ・ 若い方にも製造等の地味な作業と思われぬよう、フードビジネスが宮崎の中心になれるようITなどの導入や、利用も積極的にやりたい。
- ・ 合同企業説明会へ数多く参加させて頂き、学生さんと出会う機会を多くしたい。
- ・ ブランド力で大学にも積極的にアピールしたい。
- ・ ブースへの集客（説明会前の事前周知活動、のぼり等）
- ・ 学校訪問、施設や社内見学。

参加学生アンケート：145名が回答（回収率62.5%）

- 参加者の満足度については満足（「大変満足」、「まあ満足」）と答えた者が約80%となっている。
- 企業訪問数については学生一人当たり平均3.2社の企業ブースを訪問している。
- 開催時期については約88%の参加者が「よかった」と回答しているが、他の時期が良いと答えた学生も一定数いる。その内、4月又は5月の開催を希望する者が過半数以上であった。

○ 面接会満足度

○ 企業訪問数 1人当たり平均訪問3.2社

○ コーナー利用者数

○ 開催時期について

○ 希望する職種


参加学生アンケート：145名回答のうち県外からの参加者47名
(うち、回答者26名)

○宮崎県へのUターン・ターンを考えていますか?)

考えている (24人)	92.3%	考えていない (2人)	7.7%
----------------	-------	----------------	------

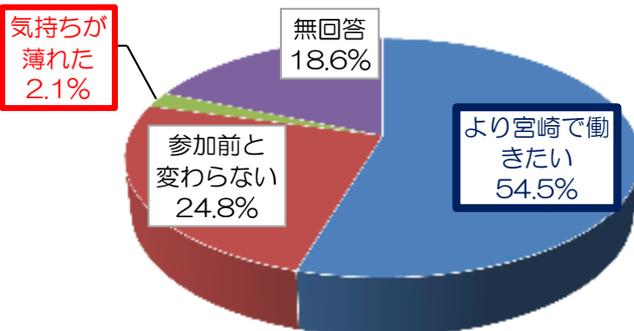


○宮崎県へのU・I・Jターン就職をするうえで、重視する条件は? ※複数回答

労働条件関係		生活環境関係	
賃金面	13人	生活面に係る費用	15人
仕事の内容	20人	地域でのイベント	1人
会社の規模、安定感	8人	地域における生活支援政策	10人
休日	9人	その他	2人
《その他》 ・ 社内の雰囲気	1人	《その他》 ・ 休日 ・ 居住地	

参加学生アンケート：145名が回答 (回収率62.5%)

○参加して宮崎で働きたいという思いに変化はありましたか?



○宮崎で働きたいと思っている参加者は、79.3%であったが、一方で説明会参加後「気持ちが薄れた」と回答された参加者が2.1%であった。

○県内(地元)の参加者であっても、同様な気持ちの変化の影響が少なからず想定されるので、今後の県内就職促進の重要な課題として深掘していく必要がある。